

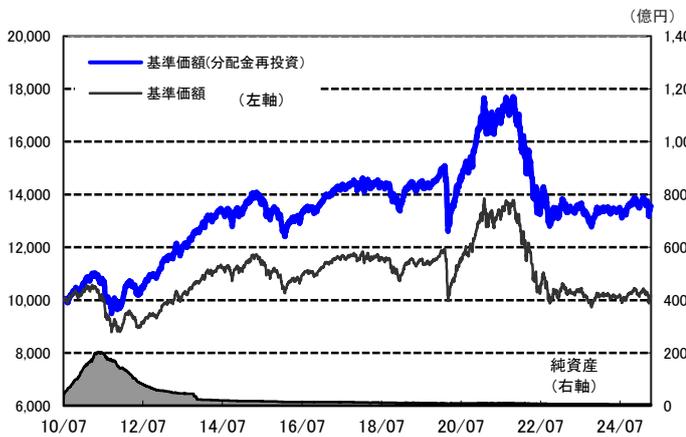


円コース(毎月分配型)

運用実績

2025年4月30日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 10,150 円
※分配金控除後

純資産総額 5.2 億円

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	-0.6%
3ヵ月	-1.4%
6ヵ月	-0.8%
1年	1.4%
3年	-7.7%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 35.6%

- 信託設定日 2010年7月22日
- 信託期間 2025年9月22日まで
- 決算日 原則、毎月20日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年4月	10 円
2025年3月	10 円
2025年2月	10 円
2025年1月	10 円
2024年12月	10 円

設定来累計 2,990 円

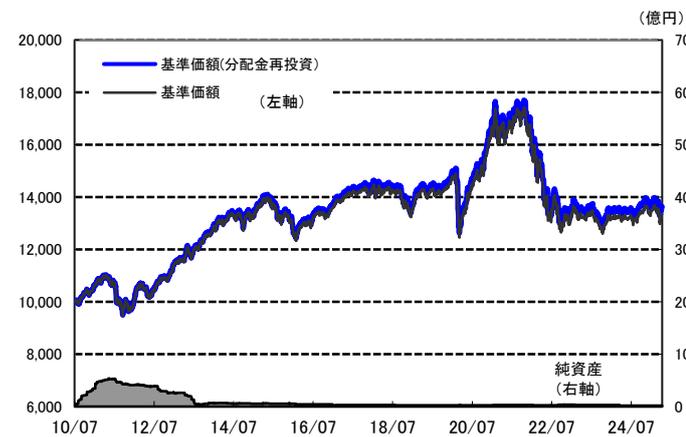
設定来= 2010年7月22日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

円コース(年2回決算型)

運用実績

2025年4月30日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 13,344 円
※分配金控除後

純資産総額 1.6 億円

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	-0.6%
3ヵ月	-1.4%
6ヵ月	-0.8%
1年	1.4%
3年	-7.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 36.4%

- 信託設定日 2010年7月22日
- 信託期間 2025年9月22日まで
- 決算日 原則3月、9月の各20日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年3月	10 円
2024年9月	10 円
2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円

設定来累計 290 円

設定来= 2010年7月22日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



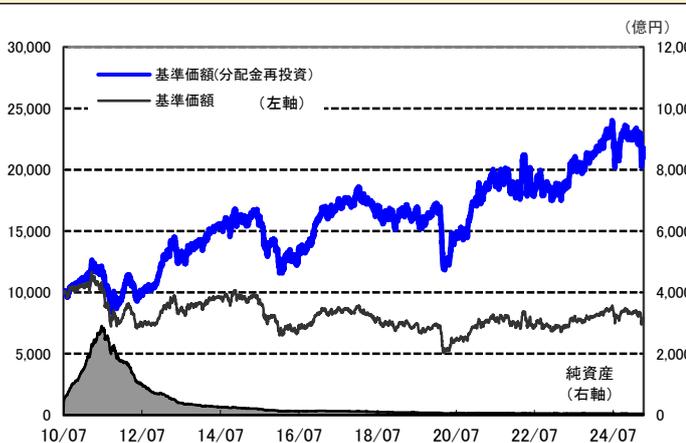
資源国通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2025年4月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※	7,905 円
※分配金控除後	

純資産総額	44.6 億円
-------	---------

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	-4.9%
3ヵ月	-5.5%
6ヵ月	-6.0%
1年	-3.4%
3年	12.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	117.5%
-----	--------

設定来累計	8,420 円
-------	---------

- 信託設定日 2010年7月22日
- 信託期間 2025年9月22日まで
- 決算日 原則、毎月20日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年4月	20 円
2025年3月	20 円
2025年2月	20 円
2025年1月	20 円
2024年12月	20 円

設定来= 2010年7月22日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

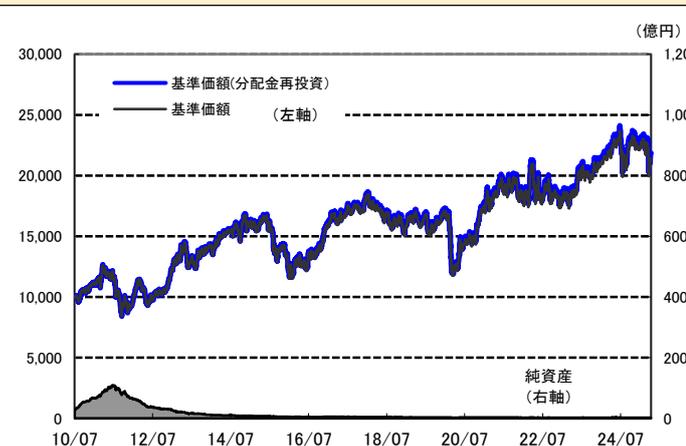
資源国通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2025年4月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※	21,438 円
※分配金控除後	

純資産総額	2.6 億円
-------	--------

騰落率	
期間	ファンド
1ヵ月	-4.9%
3ヵ月	-5.4%
6ヵ月	-5.9%
1年	-3.4%
3年	12.5%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	118.5%
-----	--------

設定来累計	290 円
-------	-------

- 信託設定日 2010年7月22日
- 信託期間 2025年9月22日まで
- 決算日 原則3月、9月の各20日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年3月	10 円
2024年9月	10 円
2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円

設定来= 2010年7月22日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

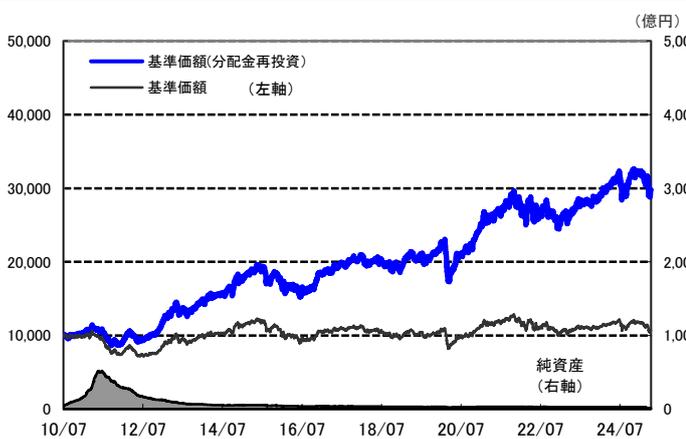


アジア通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2025年4月30日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 10,736 円
※分配金控除後

純資産総額 15.4 億円

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	-5.3%
3カ月	-7.3%
6カ月	-6.9%
1年	-3.4%
3年	8.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 197.8%

設定来累計 10,150 円

設定来= 2010年7月22日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2010年7月22日
- 信託期間 2025年9月22日まで
- 決算日 原則、毎月20日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

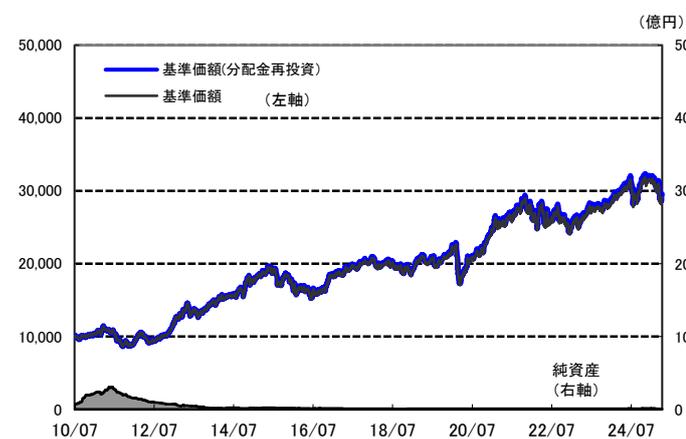
分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年4月	50 円
2025年3月	50 円
2025年2月	50 円
2025年1月	50 円
2024年12月	50 円

アジア通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2025年4月30日 現在

運用実績の推移 (設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 29,129 円
※分配金控除後

純資産総額 0.6 億円

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	-5.2%
3カ月	-7.1%
6カ月	-6.7%
1年	-3.2%
3年	8.6%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 195.8%

設定来累計 280 円

設定来= 2010年7月22日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2010年7月22日
- 信託期間 2025年9月22日まで
- 決算日 原則3月、9月の各20日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2025年3月	10 円
2024年9月	10 円
2024年3月	10 円
2023年9月	10 円
2023年3月	10 円

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の首様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンド・グローバル・コンバーティブル・ボンドの資産内容と組入上位10銘柄

資産内容

2025年4月30日 現在

ポートフォリオ特性値		格付別配分		業種別配分	
平均直利	1.7%	格付	純資産比	業種	純資産比
平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース) [※]	0.5%	AAA格	0.0%	金融	17.7%
平均デュレーション	2.1年	AA格	7.7%	生活必需品	15.3%
平均デルタ	0.3	A格	15.8%	テクノロジー	14.4%
平均格付	BBB格	BBB格	37.1%	消費循環	13.0%
		BB格	22.2%	通信	11.8%
		B格	5.4%	その他の業種	16.8%
		CCC格以下および無格付	0.6%	その他の資産	11.0%
		その他の資産	11.0%	合計	100.0%
		合計	100.0%		

地域別配分		通貨別配分(為替取引 [※] 前)	
地域	純資産比	通貨	純資産比
米国	44.0%	米ドル	61.5%
欧州その他	45.0%	ユーロ	28.5%
その他の資産	11.0%	英ポンド	3.7%
合計	100.0%	スイス・フラン	2.5%
		その他の通貨	3.8%
		合計	100.0%

・ポートフォリオ特性値は、各副投資顧問会社のポートフォリオの特性値(直利、最終利回り、デュレーション、デルタ)を、その組入比率で加重平均したものです(米ドル建て)。また、格付の場合は、現金を除き、格付毎に数値化したものを加重平均しています。
 ・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
 ・デルタ:CB価格の変化率を株価の変化率で割ったものです。この数字が高いほど(1.0に近いほど)、CB価格の株価との連動性が高くなります。
 $デルタ = CB価格の変化率(\%) \div 株価の変化率(\%)$
 ※米ドル建て以外のCB等への投資にあたっては、原則として米ドル以外のCBなど組入資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行いません。平均最終利回り(米ドル為替取引後ベース)は、CBなど組入資産(現地通貨建て)の最終利回りに当該為替取引によるプレミアム/コストを反映し、表示しています。
 ・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。格付がない場合は副投資顧問会社が同等の信用度を有すると判断した格付によります。

・各副投資顧問会社からのデータを基に算出。

(ご参考)ヘッジコスト

米ドル	ヘッジコスト [※]	4.0%
-----	---------------------	------

※ファンドの実際の為替ヘッジコスト(もしくはプレミアム)を示したのではなく、米ドルの対円のスポットレートと1か月物フォワードレートをを用いて野村アセットマネジメントが算出した年率換算したものです。
 ※ヘッジコストがマイナスの場合はヘッジプレミアムとなります。

組入上位10銘柄

2025年4月30日 現在

銘柄	地域	業種	純資産比
BK OF AMERICA CV PFD 7.25% 31/12/49	米国	金融	1.6%
AIRBNB INC CV 0% 15/03/26	米国	通信	1.5%
AKAMAI TECH CV 1.1250% 15/02/29	米国	テクノロジー	1.4%
SHOPIFY INC CV 0.1250% 01/11/25	米国	通信	1.4%
LIVE NATION ENT CV 3.1250% 15/01/29	米国	消費循環	1.4%
SOUTHERN CO CV 3.8750% 15/12/25	米国	公益	1.4%
AMERICAN WATER CV 3.6250% 15/06/26	米国	公益	1.3%
WELLTOWER OP LL CV 2.7500% 15/05/28	米国	金融	1.2%
WELLS FARGO CO PFD 7.5% 31/12/49	米国	金融	1.2%
LEG PROPERTIES CV 1.0000% 04/09/30	欧州その他	金融	1.2%
合計			13.7%

組入銘柄数 : 141 銘柄

・地域別配分は、転換先の株式およびREITの主要取引市場や発行通貨などから、各副投資顧問会社が分類した比率を基に算出しています。

当資料は、各副投資顧問会社からのデータを基に、投資顧問会社である野村アセットマネジメントが算出したデータを使用して作成しております。

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についての確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

為替予約取引とNDF取引

為替取引は、主に「為替予約取引」を用います。
しかし、中国元、ブラジルレアル、インドルピー、インドネシアルピアなど、一部の新興国通貨では内外の資金流出入を抑止する当局の規制などを背景とし、機動的に「為替予約取引」ができません。



そこで、**NDF取引**を活用します。

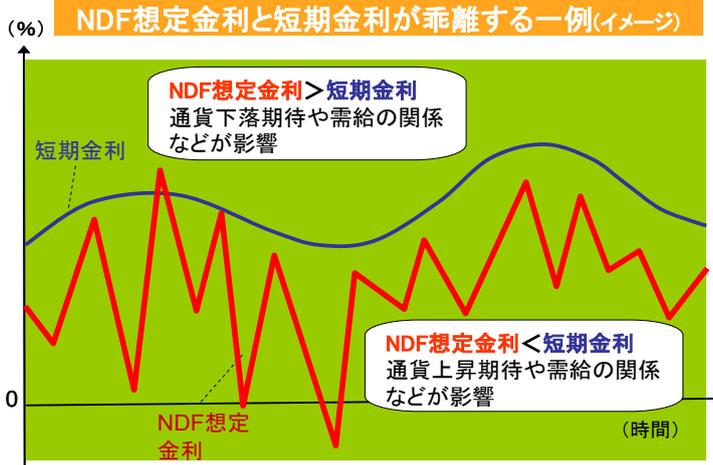
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

- ◆ 為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対で取引
- ◆ 当該通貨の受け渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済
- ◆ NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。



◎NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

乖離の背景は、各種規制で金融市場の自由度が高くないことから、割高や割安を是正する市場のメカニズムが十分に機能しないことなどが挙げられます。



(注) 上記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。
また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

上記の要因以外でも、米ドルの短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、コストが生じる可能性があります。

(出所) 各種情報に基づき野村アセットマネジメント作成

(注) 上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



世界の転換社債(CB)の推移

2025年4月30日 現在

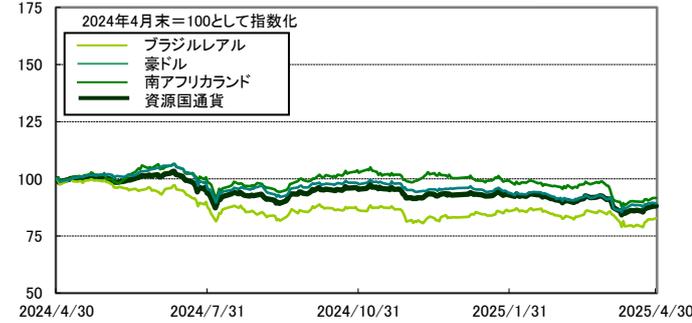


・出所:リフィニティブのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 世界CB:米国CBと欧州CBの市場指数を50:50で合成し算出した指数
 米国CB:トムソン・ロイター転換社債インデックス米国
 欧州CB:トムソン・ロイター転換社債インデックス欧州(米ドルヘッジベース)
 ・左記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

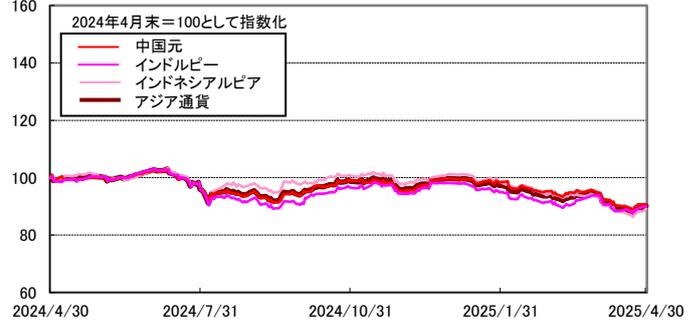
対象通貨国の為替レートおよび短期金利(日次)

2025年4月30日 現在

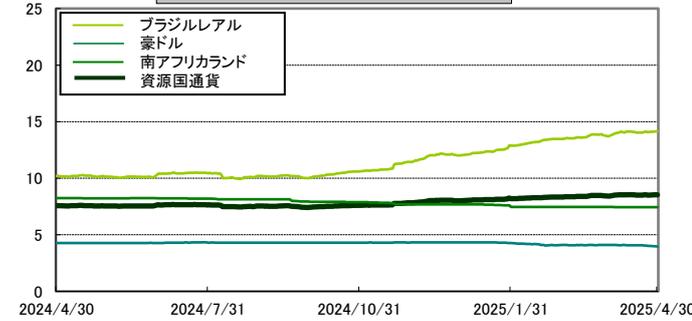
資源国通貨の為替(対円レート)の推移



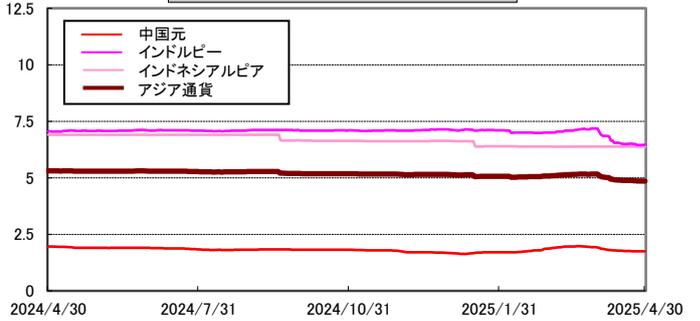
アジア通貨の為替(対円レート)の推移



資源国通貨の短期金利の利回り推移



アジア通貨の短期金利の利回り推移



NDFインプライド金利*

ブラジルレアル	中国元	インドルピー	インドネシアルピア
13.0%	6.5%	7.5%	6.2%

* NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。NDFについては前ページをご参照ください。

・出所:ブルームバーグ等のデータに基づき野村アセットマネジメント作成
 【各通貨の短期金利】ブラジルレアル:国債1ヵ月、豪ドル:銀行手形1ヵ月、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月、中国元:上海インターバンク・オフワード・レート1ヵ月、インドルピー:インドインターバンク1ヵ月レート、インドネシアルピア:インドネシア・ジャカルタ・インターバンク・オフワード・レート1ヵ月
 ・「資源国通貨」は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。
 ・「アジア通貨」は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。
 ・「資源国通貨」の短期金利は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)の短期金利の平均値です。
 ・「アジア通貨」の短期金利は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)の短期金利の平均値です。
 ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○グローバルCB市場は、欧州CB市場はほぼ変わらずであったものの、米国CB市場が下落し、月間で値下がりとなりました。

○米国CB市場は、相互関税に伴う景気減速懸念が高まったことなどから、月間で値下がりとなりました。欧州CB市場は、米国の関税措置による景気後退懸念の高まりから下落する局面があったものの、欧州国債利回りが低下(価格は上昇)したことで、月間ではほぼ変わらずとなりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○基準価額(分配金再投資)は、全コースで値下がりとなりました。当ファンドが投資対象とする外国投資信託のCB組入比率は、月末現在で89.0%となりました。

○地域別配分は、米国が44.0%、欧州その他が45.0%となりました。格付別配分は、BBB格の比率が高めとなりました。また、業種別配分では、金融、生活必需品などを上位とし、地域や格付け、業種別配分などの観点から分散されたポートフォリオの構築を行ないました。

○なお、月末の平均直利(直接利回り)は1.7%です。

今後の運用方針 (2025年5月8日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国経済は、これまで堅調に推移してきたものの、減速傾向が見られます。1-3月期の実質GDP(国内総生産)成長率は前期比年率-0.3%となり、2022年1-3月期以来のマイナス成長となりました。3月の実質個人消費は前月比+0.7%と高い伸びとなりましたが、追加関税導入を控えた自動車などの駆け込み需要の影響が大きいとみられます。金融政策のかじ取りが難しくなるなかで、複数のFOMC(米連邦公開市場委員会)参加者は、先行き不透明感により状況の見極めが必要との見方から利下げには慎重な姿勢を示しており、今後の消費や金融政策の動向には注視が必要です。

○欧州経済は、改善の兆しが見られるものの、先行き不透明感が高まっています。1-3月期のユーロ圏GDP成長率は前期比+0.4%となり2024年10-12月期の前期比成長率から加速しています。4月のユーロ圏製造業PMI(購買担当者景気指数)速報値は48.7と引き続き景気判断の基準となる50を下回っていますが、市場予想を上回り、前月からは上昇しています。一方で4月のユーロ圏サービス業PMI速報値は相互関税をめぐる先行き不透明感から5ヵ月ぶりに50を下回っています。ECB(欧州中央銀行)は4月に6会合連続となる追加利下げを実施しており、今後の景気や物価の動向に注視が必要です。

○ファンドは、引き続き、高水準のインカムゲイン(利子収入)の確保とキャピタルゲイン(値上がり益)の獲得を目指し、ポートフォリオの地域別配分、格付別配分、業種別配分等に考慮したポートフォリオの構築を行なっていきます。

*当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

※投資対象とする外国投資信託の各副投資顧問会社からの情報提供に基づき作成しています。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 「野村グローバルCB投信(バスケット通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる3つのコース(円コース、資源国通貨コース、アジア通貨コース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))の6本のファンドから構成されています。
- 高水準のインカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目的として運用を行ないます。
- 日本を除く世界の企業が発行する高利回りの転換社債(グローバルCB)を実質的な主要投資対象*とします。
*「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・コンバーティブル・ボンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
・「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・コンバーティブル・ボンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	外貨建資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。
資源国通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引*を行ないます。
アジア通貨コース (毎月分配型) / (年2回決算型)	外貨建資産について、原則として、実質的に当該資産にかかる通貨を売り、アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引*を行ないます。

*保有する外貨建資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

- 通常状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・コンバーティブル・ボンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
*通常状況においては、「ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドーグローバル・コンバーティブル・ボンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- 各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「野村グローバルCB投信(バスケット通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月20日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。なお、毎年3月および9月の決算時には、上記安定分配相当額に委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

*「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。

◆年2回決算型

原則、毎年3月および9月の20日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

- ・投資顧問会社が、グローバルCBの運用を行なう副投資顧問会社の選定と、各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率を決定します。
- ・副投資顧問会社の選定にあたっては、運用体制や運用プロセスなどに対する独自の定性評価を重視し、グローバルCBの運用において優れていると判断した運用会社を原則として複数選定します。
- ・投資顧問会社は選定した副投資顧問会社及びファンド全体のリスク特性の状況を絶えずモニターし、必要に応じて各副投資顧問会社が運用する信託財産の配分比率の変更や副投資顧問会社の入替を適宜行ないます。

*投資顧問会社は、副投資顧問会社の選定および信託財産の配分比率決定にあたり、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社より助言を受けます。

副投資顧問会社	主な担当地域
J.P. Morgan Asset Management (UK) Limited	米国
UBS Asset Management Switzerland AG	欧州その他
UBS Asset Management (UK) Ltd	

- ・出所: 投資顧問会社(野村アセットマネジメント)作成
- ・上記は2025年4月30日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、転換社債(CB)等に実質的に投資する効果を有しますので、当該転換社債等の転換等対象株式の価格下落や金利変動等による当該転換社債等の価格下落、当該転換社債等の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる可能性があります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2025年9月22日まで(2010年7月22日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月20日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。【年2回決算型】年2回の決算時(原則3月および9月の20日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入価額 1万円以上100単位(当初元本100=1円)または1万円以上1円単位(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動かけいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
- ご購入単位 ※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。 ※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。【円コース、資源国通貨コース】
○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行 ・チューリッヒの銀行
【アジア通貨コース】
○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行
・チューリッヒの銀行 ・ジャカルタの銀行
○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金のお申込みの受付を行わないものとして委託会社が指定する日の場合
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.023%(税抜年0.93%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.823%程度(税込) *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様が発金される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
<受付時間> 営業日の午前9時~午後5時
★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**
[ファンドの運用の指図を行なう者]
<受託会社> **野村信託銀行株式会社**
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



分配金に関する留意点

● 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。

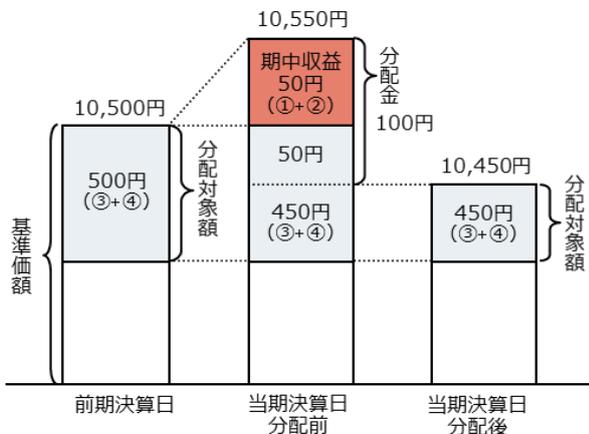


● ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

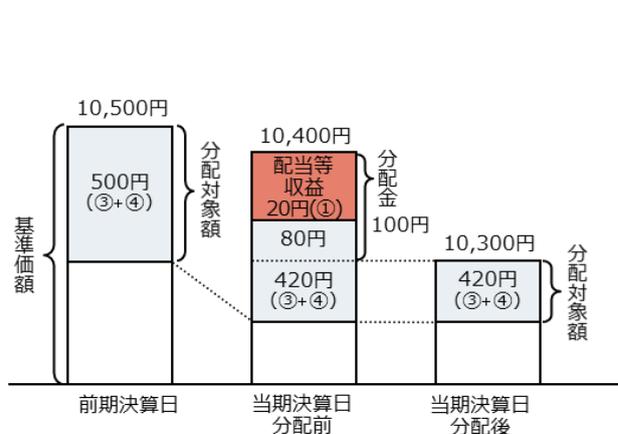
・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



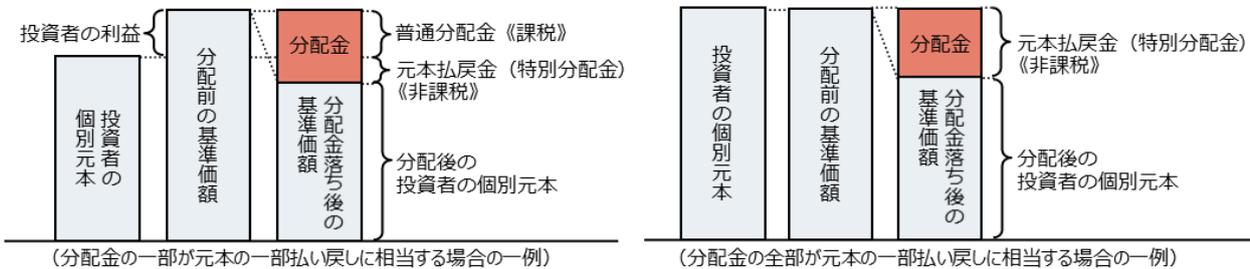
前期決算から基準価額が下落した場合



● 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆ 投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についての確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村グローバルCB投信(バスケット通貨選択型) 毎月分配型／年2回決算型

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。